

# 花が大きく広がった鐘の形をしている品種です。

< 植物名 >

**カンパニユラ**  
カルパチカ(カルパティカ)

水やり

加湿は立ち枯れ病の原因となる為、鉢土の表面が乾いた頃に水やりを。

置き場所

一般的には冷涼で乾燥気味を好み、夏は半日陰などで育てる。

用土肥料

基本的には多肥を避け、元肥だけ施す。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

種まき 株分け 挿し木

冬越し

耐寒性の有るものとなないものがある。

使い方 花壇、鉢植え、切花

学名 Campanula carpatica

英名 tussock bellflower

属名 ホタルブクロ

科名 キキョウ

性状(分類) 多年草

原産地 ヨーロッパ

花の色 青、紫、白

開花期 夏

購入時期

草丈 5 ~ 90 cm

ID 620

季節 夏

JFコード 20729



冬越しと置き場所

日当たりと排水が良く、中性から弱アルカリ性の土壌を好む。種類によって性質も様々だが、一般的には冷涼で乾燥気味を好み、夏は半日陰などで育てる。

その他の解説

基本的には多肥を避け、元肥だけ施す。秋遅くに植え、まだ根が定着していない株は、霜で根が持ち上げられるのを防ぐ為、巻き藁などでマルチングをしてあげる。

特徴1

カルパティカは花が大きく広がった鐘形の花が咲く八重咲きの品種もある。加湿は立ち枯れ病の原因となる為、鉢土の表面が乾いた頃に水やりを。

特徴2

涼しげな釣鐘形のカンパニユラは、ヨーロッパでは古くから親しまれてきた。この属には約250種あるといわれ、自生地も様々で、種類も豊富。属名は花の形にちなんでラテン語の“鐘-campana”を元に命名されたそう。カルパティカは花が大きく広がった鐘形や八重咲きの品種がある。性質も種類によって多様だが、一般的には冷涼で乾燥気味を好み、耐寒性の有るものとなないものがある。花壇 鉢植え 切花に向いている。